科目名	学年	単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
日本史 Japanese history	3MB	2	90分×30回	履修	講義・通年	—

教員名	岩元　修一　IWAMOTO Shuichi
授業概要	学校で学ぶ体系的な日本史の授業は最後となることから、限られた時間の中で、出来る限り新しい時代の学習と日本史全体の通時的な把握を、周辺の国・地域との関わりの中で行えるように配慮した。あわせて技術の歴史にも目配りを忘れないように展開を工夫した。日本史の中の地域の違いや周辺諸国との関わりに留意することで、「さまざまな文化や歴史に触れ」、「他者や他国の立場を視野に入れ」て幅広い見地から物事を判断できるように授業内容を構成した。

到達目標	評価方法
①日本史の通時的展開を各地域、各国との関わりの中で理解できる。②日本史の共時的展開を各地域、各国とのいわば横の関わりの中で理解できる。③各地域、各国、各時代に生きた異なる人々の立場や文化・歴史を理解できる。	①試験60%（1回が15%、計4回）、②自学自習の課題40%（うち、口頭試問20%、小テスト・レポート課題20%）とする。なお、単なる欠席の場合、提出物の成績は、通常の試験と同じ扱いとするので注意すること。

学習・教育目標	(F)	JABEE基準1（2）	

授業計画

回	項目	内容
第1	導入（1）	シラバスについての説明および旧石器時代について説明する。
第2	旧石器時代	列島上の祖先について説明する。
第3	縄文時代	生活・信仰・環境を中心に説明する。
第4	弥生時代	生活・信仰・環境を中心に説明する。
第5	古墳時代	古墳の役割・成立の背景を中心に説明する。
第6	古代国家の成立	7世紀を中心に国家の成立過程を説明する。
第7	中間まとめ	中間まとめとして試験を行う。
第8	奈良・平安時代	①試験の解答、② 奈良・平安時代について神と仏を中心に説明する。
第9	奈良～鎌倉時代	仏像を軸に信仰について説明する。
第10	鎌倉時代	鎌倉幕府の成立を中心に説明する。
第11	江戸幕府の成立（1）	江戸時代の前史として戦国時代を説明する。
第12	江戸幕府の成立（2）	天下統一の過程を中心に説明する。
第13	江戸時代（1）	江戸時代の国の仕組みを中心に説明する。
第14	江戸時代（2）	江戸時代の対外関係について幕末までを中心に説明する。
第15	まとめ	①解答、②レポート課題を説明する。

授業計画

回	項目	内容
第16	幕末～明治時代（1）	幕末の歴史過程を説明する。
第17	幕末～明治時代（2）	戊辰戦争から1870年代までを中心に説明する。
第18	明治時代	1880年代の憲法を中心に説明する。
第19	明治～昭和（1）	近代日本の対外戦争を説明する（1）。
第20	明治～昭和（2）	近代日本の対外戦争を説明する（2）。
第21	明治～昭和（3）	近代日本の対外戦争を説明する（3）。
第22	中間まとめ	中間まとめとして試験を行う。
第23	日本の敗戦	①試験の解答、②戦争終結までの過程を中心に説明する。
第24	占領（1）	占領前期の日本を中心に説明する。
第25	占領（2）	占領政策の転換から独立までの日本について説明する。
第26	戦後の経済（1）	19世紀以降の世界経済の仕組みと日本（1）
第27	戦後の経済（2）	世界経済の仕組みと戦後日本（2）
第28	1950年代以降の日本	独立後の日本の政治と対外政策について説明する。
第29	冷戦の終結	1970年代～90年代の世界と日本について説明する。
第30	まとめ	①解答と全体の学習事項をまとめ、②授業評価アンケートを行う。

自学自習の内容	レポートなどの課題を課す。
関連科目	現代社会、世界史、倫理
教科書	『日本史』（東京書籍）
参考書	『詳説日本史図録』（山川出版社）
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。
副担当教員	
備考	テキスト・図録は毎回必ず持参すること（不携帯は減点の対象になります）。欠席状況は各自で確認すること。